



# 一般質問 発言の要旨

## 城内学舎跡地利用について

堀川 力 議員

**問** 平成32年に郡山高校の城内学舎が廃止予定ですが、市は跡地活用については歴史資源を活かした利活用として、奈良県と協議を進めていると聞き及んでおります。例えば、道の駅のような観光拠点として利活用するなど市が買収した後の具体案についてお伺いします。

**答** 城内学舎跡地については、都市公園区域への編入と国史跡指定を視野に入れた取り組みとして、積極的に買収に向けた検討を進めており、体育館とセミナーハウスの活用については奈良県へ伝えております。今後は、跡地活用の可否も含め、国、県、そして地権者である柳沢文庫と調整しながら、検討を進めていく予定です。

・他の質問項目：近鉄郡山駅前周辺整備について

## 子ども・若者相談について

福田 浩実 議員

**問** 「不登校・ニート・ひきこもり相談窓口」について、月1回の出張相談会ではなく、アウトリーチや訪問活動を含めた、常設の相談窓口を庁舎内に設置して頂けませんか？ また、子どもたちの主なコミュニケーション手段となっている、SNSを活用した「いじめ・自殺相談」に取り組むべきではないですか？

**答** 常設の相談窓口については、課題と考えてはいますが、現況の無料出張相談会の周知や国、県、関係機関による相談窓口の広報に努めてまいります。SNSを活用した相談窓口については、先行して実施している自治体の状況、効果や課題等を参考に調査研究してまいりたいと考えております。

## 市の将来を担う子ども達のための教育体制について

西村千鶴子 議員

**問** 全国平均値より、読解力・表現力が低い本市の子ども達の基礎学力のもととなる読書力の向上のため、学校司書を全校配置するなどの学校図書館環境整備を進めていただくことを提案します。未来を委ねる子ども達に生きる力を育み、郡山に生まれてよかった、郡山で育ってよかったと思える教育体制の方針を具体的にお聞かせ下さい。

**答** 本市の将来を担う子ども達の教育体制につきまして、「主体的・対話的で深い学び」による授業を実践することにより、能動的に学ぶことができる児童生徒の育成に努めます。そのためにも、学校図書館の活性化に向け、司書の配置やICT環境の整備などを年次的に進めてまいります。

## 介護保険事業について 広報配布について

徳野 衆 議員

**問** 本市の介護保険料がまた値上げ。一般会計の繰り入れで高齢者の生活を助けられないか？ 2018年の国の施策で、訪問介護の訪問回数が制限されるが、利用者に必要なサービスは維持できるか？ 現在、推計1200世帯の市民に広報や防災マップが届いていないのは情報差別。自治会加入・不加入にかかわらず配布のお願いをすることが地域コミュニティの発展となるがどうか？

**答** 法定外繰入は国の法定負担割合の原則に反するため考えていません。訪問介護については、サービスが低下しないよう努めます。広報配布については、自治会の役割、意義等の周知に努めることにより、できるだけ全戸配布に近づけてまいりたいと考えています。

## 災害対策強化について

林 浩史 議員

**問** 南海トラフ大地震発生が危惧される中、災害が発生しても被害を最小限に抑える為に、災害対策強化が必要不可欠である。自主防災組織化推進、連携した合同訓練実施、こども消防団の育成、また災害弱者救出の為に要支援者支援体制について、その取り組みが急がれる。現状と今後について聞く。

**答** 自主防災組織率を向上し課題となっている要支援者支援体制の構築に努めるとともに、地区単位での防災訓練を通じて、自主防災組織同士の連携、自治連合会との連携を図り、様々な課題を抽出しつつ地域とともに防災に取り組みます。また防災訓練や出初式の機会を通じて子どもたちを対象とした消防体験イベント等を検討します。